

本学園八王子キャンパスにおけるPFOS（有機フッ素化合物の一種）を含む 泡消火剤の一部流出について 第五報

2025年8月5日
学校法人片柳学園

八王子キャンパス地下車路においてPFOS（有機フッ素化合物の一種）を含む泡消火剤流出の件に関しまして現状下記の通りご報告いたします。

現在、引き続き八王子キャンパスを全面閉鎖し、PFOSが含まれている可能性のある汚水の除去作業を行っております。

●これまでの経緯

・7月10日夜八王子キャンパス地下車路において泡消火剤の漏水が確認され、2L程度が調整池へ流入しました。

・7月15日に八王子市が採取した水から基準値を超える濃度が確認されました。（調整池出口付近 8,600ng/L 兵衛川付近 1,600ng/L）※7月22日八王子市発表

・7月18日に八王子市が採取した水に関しても高い濃度が確認されました。（調整池出口付近 11,000ng/L 兵衛川付近 810ng/L）※7月25日八王子市発表

・7月23日に八王子市が採取した水に関して前回を下回る濃度が確認されました。（調整池出口付近 5,600ng/L 兵衛川付近 390ng/L）※7月28日八王子市発表

・7月29日に八王子市が採取した水に関して右記の数値が確認されました（水路110ng/L 兵衛川付近48ng/L）※学内調整池付近は今後学内でモニタリングしていき、上記の水路に関しては調整池からの排水を止めているため水量が少なく、さらに下流で採水したものです

参考：河川における暫定指針値 50ng/L

●現在および今後の対応

1. 事故後学内污水处理場から調整池への放流を止めキャンパス外への流出を停止
2. 調整池から外部河川への放水口を完全に遮断
3. 7月17日よりキャンパスを完全閉鎖して汚染水の量を低減
4. キャンパスに残留している汚染水を産業廃棄物処理業者に依頼し搬出を実施
5. 汚水について高度処理プラントを設置し、浄化処理のうえ、濃度を50ng/L以下にまで下げたうえで8月6日から段階的に水路に放流予定
6. 処理水放流の管理として、水路及び兵衛川にてサンプリング調査を実施
7. 排水を止めている調整池の汚水も処理プラントを構築していく

引き続き八王子市、関連機関と密な連携をとり、必要な措置を確実に実施してまいります。学生、近隣の皆様にはご不便・ご不安をかけして申し訳ございません。

本HPにて今後の見通しなどの状況に関しては随時お知らせしてまいります。